

松井久子 監督作品

何を怖れる



フェミニズムを生きた女たち

70年代初頭にウーマンリブが始まった頃
彼女たちはまだ20代、30代だった
おのれの生きにくさにもがき、社会に向かい「NO」と叫んでいた
その後約半世紀、女たちは自己と社会を肯定すべく
つよい意思をもって生きてきた
男社会からうとまれても、同性たちの偏見や誤解の目に晒されても
すすんで自らを「フェミニスト」と名のり、目の前の壁と闘いながら
つねに女たちと共感し、女たちとつながって
老年期を迎えた今もなお、みずみずしく女であることを愛している
そんな彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたか？
次の世代に何を伝えようとしているか？
「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の松井久子監督が
フェミニストたちの証言でつづる初のドキュメンタリー映画

**入場無料
申込不要**

日時 平成28年2月20日（土）



松井久子
Hisako Matsui
映画監督 / プロデューサー

一部

13時～ 映画上映会

「何を怖れる」フェミニズムを生きた女たち

二部

15時～ トークセッション

テーマ「次の世代に何を伝えるか」

パネリスト

映画監督 松井久子さん

パネリスト

長野県副知事 中島恵理さん

コーディネーター

信州大学教育学部教授 松岡英子さん

場 所 勤労者女性会館しなのき 2階ホール

私たちは、かつて婦人会活動やPTA活動により社会参加をはじめ、男女共同参画社会をめざし
家庭・地域・学校・職場等において啓発活動に努めてきました。それぞれの活動をどのように
次の世代に伝えていくかが課題となっています。次の時代を生きる人々に何を伝えていくか？
共に考えたいと思います。

主催：長野市地域女性ネットワーク

【問合せ】長野市男女共同参画センター（勤労者女性会館しなのき2階） TEL 237-8303